



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月15日

上場会社名 株式会社 テン・アローズ 上場取引所 大証二部
 コード番号 9885 URL <http://www.ten-arrows.com/>
 代表者 代表執行役社長 林 勝哉
 問合せ先責任者 経理部 部長 谷口 博樹 TEL (078) 792-7414

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	40,827	△4.7	2,394	103.2	2,617	84.6	△1,573	—
19年3月期第3四半期	42,861	△11.2	1,178	5.2	1,418	△3.3	△1,115	—
19年3月期	54,570		518		873		△2,545	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	△81.17	—
19年3月期第3四半期	△57.54	—
19年3月期	△131.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	23,523	18,943	80.5	977.48
19年3月期第3四半期	39,442	22,823	57.6	1,172.76
19年3月期	37,369	21,381	57.2	1,103.20

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	△243	△171	△4,805	4,908
19年3月期第3四半期	△3,347	3,988	1,065	10,266
19年3月期	△3,329	4,054	840	10,130

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	46,100	△15.5	2,210	225.9	2,460	181.8	△1,860	—	△95.97

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成19年11月15日に公表しました連結業績予想は、本資料において修正しています。
- 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰や諸原材料の値上がりに加え、アメリカでのサブプライムローン問題を契機とする世界的な金融不安により先行きに対する不透明感が強まり、個人消費は力強さに欠ける状況にありました。

このような中、当社企業グループにおきましては、平成19年7月からの新しい経営体制の下、長らくの売上低迷のトレンド回復を最優先課題と位置づけ新商品の投入や販売促進に注力するほか、企業価値向上のためのグループ再編実行や既存事業の業績回復のための変革準備を押し進めてまいりました。

当第3四半期の当社企業グループの売上高は408億27百万円、営業利益は23億94百万円、経常利益は26億17百万円となりました。しかしながら、ギフト卸売事業の譲渡等による事業整理損25億44百万円、レディースインナー等卸売事業における「シャルレスポーツ」ブランドのたな卸資産評価損7億4百万円などを特別損失に計上したことにより、四半期純損失は15億73百万円となりました。

レディースインナー等卸売事業におきましては、ビジネスメンバー（代理店、特約店）を対象に9月から11月の3ヶ月間の「ステップアップコンテスト」を実施し活動促進を行ったものの、大きな需要を見込んで投入した10月発売の大型新商品「花シャルレシリーズ」の拡販不足や高粗利商品のスキンケア化粧品「エタリテ」の売上不振が影響し、当第3四半期の売上高は234億94百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は27億34百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

ギフト卸売事業におきましては、プレミアム食材や、こだわり素材の限定ブランドを充実させた「2007 お歳暮カタログ」を発刊し、既存販売店の掘り起こしと新規販売店の開拓を積極的に行いました。また、上半期に引き続き、不採算ビジネスの見直しに注力する一方、徹底的な経費削減に努めてまいりました。そして、平成19年11月30日付でギフト卸売事業を新設分割して、その新会社の全株式をシャディ株式会社に譲渡することにより、グループの再編を図りました。

このように、事業基盤の転換の浸透や、事業の選択と集中に注力しました結果、売上高は172億37百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は47百万円（前年同期は7億56百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

総資産は、ギフト卸売事業の譲渡による減少97億11百万円、有価証券の減少41億27百万円等により、前連結会計年度末に比べ138億45百万円減少して235億23百万円となりました。

負債は、ギフト卸売事業の譲渡による減少94億47百万円、未払金の減少6億81百万円、未払法人税等の減少8億66百万円等により、前連結会計年度末と比べ114億7百万円減少して45億80百万円となりました。純資産は、四半期純損失15億73百万円、利益配当5億81百万円等により、前連結会計年度末に比べ24億37百万円減少して189億43百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.2%から80.5%に増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ52億21百万円減少し、49億8百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは、2億43百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の減少額10億53百万円、未払金の減少額6億30百万円、事業整理損失25億44百万円、法人税等の支払額18億8百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、1億71百万円となりました。主な要因は、定期性預金の増加額11億65百万円、有価証券の売却・償還による収入12億42百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、48億5百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少額39億99百万円、配当金の支払額5億53百万円であります。

3. その他の定性的情報 [会計処理の方法における簡便な方法の採用]

税金費用の計算および、影響額が僅少なものについて一部簡便な方法を採用しております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	前第3四半期末 (平成19年3月期)	当第3四半期末 (平成20年3月期)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	%	百万円
I 流動資産	25,352	14,436	△10,916	△43.1	24,978
現金及び預金	6,271	5,042	△1,228		5,679
受取手形及び売掛金	4,638	73	△4,565		4,218
有価証券	6,383	2,785	△3,598		6,912
たな卸資産	6,722	4,378	△2,344		6,234
繰延税金資産	—	1,511	1,511		1,222
その他	1,437	647	△789		787
貸倒引当金	△100	△2	98		△75
II 固定資産	14,089	9,087	△5,002	△35.5	12,390
有形固定資産	5,229	2,645	△2,584	△49.4	4,277
無形固定資産	1,267	480	△786	△62.1	731
投資その他の資産	7,593	5,962	△1,631	△21.5	7,381
資産合計	39,442	23,523	△15,918	△40.4	37,369
(負債の部)					
I 流動負債	14,069	3,265	△10,804	△76.8	13,413
買掛金	3,571	838	△2,732		3,174
短期借入金	4,375	—	△4,375		4,225
未払金	1,987	1,212	△774		2,133
事業整理損失引当金	—	142	142		—
賞与引当金	298	234	△64		395
その他	3,837	837	△2,999		3,485
II 固定負債	2,549	1,314	△1,234	△48.4	2,574
長期借入金	1,185	25	△1,160		1,110
退職給付引当金	1,021	1,071	49		1,008
その他	342	218	△123		455
負債合計	16,618	4,580	△12,038	△72.4	15,987
(純資産の部)					
I 株主資本	22,679	19,081	△3,598	△15.9	21,249
資本金	3,600	3,600	—		3,600
資本剰余金	4,897	4,897	—		4,897
利益剰余金	15,379	11,781	△3,597		13,949
自己株式	△1,197	△1,198	△0		△1,198
II 評価・換算差額等	49	△137	△186	—	131
その他有価証券 評価差額金	16	△198	△215		87
為替換算調整勘定	32	61	28		43
III 少数株主持分	95	—	△95	—	1
純資産合計	22,823	18,943	△3,880	△17.0	21,381
負債純資産合計	39,442	23,523	△15,918	△40.4	37,369

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期 (平成19年3月期)	当第3四半期 (平成20年3月期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
I 売上高	42,861	40,827	△2,033	△4.7	54,570
II 売上原価	27,939	26,104	△1,834	△6.6	35,849
売上総利益	14,921	14,722	△198	△1.3	18,720
III 販売費及び一般管理費	13,742	12,327	△1,414	△10.3	18,201
営業利益	1,178	2,394	1,216	103.2	518
IV 営業外収益	296	274	△22	△7.6	433
受取利息及び配当金	144	118	△26		198
有価証券売却益	58	38	△19		80
ギフト券未交換益	54	54	0		76
その他	39	62	23		77
V 営業外費用	57	51	△5	△9.7	79
支払利息	32	34	1		48
投資事業組合運用損失	9	—	△9		16
その他	15	17	2		14
経常利益	1,418	2,617	1,199	84.6	873
VI 特別利益	47	21	△26	△54.8	30
固定資産売却益	7	—	△7		7
投資有価証券売却益	—	11	11		—
貸倒引当金戻入益	36	—	△36		—
保険解約益	3	10	6		22
VII 特別損失	1,154	3,458	2,304	199.7	3,872
たな卸資産評価損	—	704	704		—
たな卸資産処分損	—	56	56		—
固定資産除売却損	1	10	9		58
減損損失	44	—	△44		1,695
事業整理損失引当金繰入額	—	142	142		—
事業整理損	58	2,544	2,485		233
貸倒引当金繰入額	—	—	—		138
役員退職慰労金	792	—	△792		792
特別退職金	257	—	△257		254
物流拠点再編等損失	—	—	—		646
その他	—	—	—		53
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失(△)	311	△819	△1,131	—	△2,969
法人税等	1,593	753	△839	△52.7	△170
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△166	0	166	—	△253
四半期(当期)純損失	1,115	1,573	457	41.1	2,545

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (平成19年3月期)	当第3四半期 (平成20年3月期)	(参考) (平成19年3月期)
区 分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	311	△819	△2,969
減価償却費	183	152	249
無形固定資産・長期前払費用償却費	486	308	605
受取利息及び配当金	△144	△118	△199
支払利息	32	34	48
有価証券売却損益(利益:△)	△58	△50	△80
減損損失	—	—	1,695
固定資産除売却損	1	10	58
事業整理損	—	2,544	233
役員退職慰労金	792	—	792
特別退職金	257	—	254
売上債権の増減額(増加:△)	△1,086	215	△665
たな卸資産の増減額(増加:△)	△1,268	1,053	△836
旅行積立金の増減額(増加:△)	△407	△19	387
仕入債務の増減額(減少:△)	△257	△68	△655
未払金の増減額(減少:△)	△181	△630	△613
前受金の増減額(減少:△)	234	77	115
未払消費税等の増減額(減少:△)	109	△50	135
前払年金費用の増減額(増加:△)	△61	△99	△93
売上割戻引当金の増減額(減少:△)	△45	4	△47
退職給付引当金の増減額(減少:△)	40	62	26
その他	△324	△1,131	517
小計	△1,386	1,476	△1,040
利息及び配当金の受取額	119	123	193
利息の支払額	△32	△35	△48
法人税等の支払額(△)又は還付額	45	△1,808	48
役員退職慰労金の支払額	△792	—	△964
特別退職金の支払額	△1,301	—	△1,300
その他	—	—	△217
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,347	△243	△3,329
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期性預金の増減額(増加:△)	△976	△1,165	△725
有価証券の売却・償還による収入	6,632	1,242	6,695
有価証券の取得による支出	△1,681	△9	△1,732
有形固定資産の売却による収入	108	8	108
有形固定資産の取得による支出	△148	△153	△172
無形固定資産の取得による支出	△450	△54	△526
保険関連収入	597	10	713
連結除外による影響額	—	△108	—
その他	△92	58	△306
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,988	△171	4,054
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金増減額(減少:△)	1,799	△3,999	1,649
長期借入金返済による支出	△178	△251	△252
配当金の支払額	△580	△553	△581
その他	24	△0	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,065	△4,805	840
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0	2
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,705	△5,221	1,569
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,560	10,130	8,560
VII 現金及び現金同等物の期末残高	10,266	4,908	10,130

(4) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日) (単位:百万円)

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	24,131	18,555	174	42,861	—	42,861
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	111	115	(115)	—
計	24,131	18,559	286	42,976	(115)	42,861
営業費用	21,863	19,315	529	41,708	(26)	41,682
営業利益又は営業損失(△)	2,267	△756	△243	1,268	(89)	1,178

当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) (単位:百万円)

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	23,494	17,237	96	40,827	—	40,827
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	15	18	(18)	—
計	23,494	17,240	111	40,846	(18)	40,827
営業費用	20,759	17,192	307	38,260	172	38,432
営業利益又は営業損失(△)	2,734	47	△196	2,585	(190)	2,394

(参考) 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) (単位:百万円)

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	29,695	24,638	235	54,570	—	54,570
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	116	121	(121)	—
計	29,695	24,643	351	54,691	(121)	54,570
営業費用	27,505	25,721	724	53,952	98	54,051
営業利益又は営業損失(△)	2,189	△1,077	△372	738	(220)	518

(注) 1. 事業区分の方法は、商品の種類、販売形態、販売経路および重要性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な商品・サービス

レディースインナー等卸売事業	レディースインナーを主体とする衣料品・化粧品等
ギフト卸売事業	贈答品、慶弔見舞品、その他ギフト商品全般
その他の事業	不動産管理等

3. 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第3四半期93百万円、当第3四半期198百万円、前連結会計年度228百万円であり、その主な内容は当社の管理部門に係る費用であります。

②所在地別セグメント情報

前第3四半期、当第3四半期および前連結会計年度において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

③海外売上高

前第3四半期、当第3四半期および前連結会計年度において、海外売上高は連結売上高の10%未満のため記載を省略しております。